

研 究

食肉衛生検査所における情報発信の効果と必要性について

鈴木一茂¹⁾・鈴木将顕¹⁾・二瓶友美¹⁾・小野聡美²⁾

1) 宮城県食肉衛生検査所

2) 宮城県東部保健福祉事務所

I はじめに

宮城県食肉衛生検査所では現在、消費者に対し、ホームページや関係団体等に配布している検査所日より、消費者参加型事業であるオープン・ラボによって、食肉衛生検査所における獣医師の業務について紹介している。しかし、上記の情報発信手段は受動的であり、その効果は関係者や興味・関心のある一部の消費者等、限られた範囲に留まっている。

このような状況の中、昨年、「どうぶつフェスタ in MIYAGI」と題するイベントがあり、食肉衛生検査所にも出展依頼があった。当所では、これをと畜検査や食肉衛生検査所における獣医師の業務内容に係る情報発信の好機であると考え、参加したイベントでのブース展示やアンケートを実施したところ、一定の成果と課題が得られたのでここに報告する。

衛生検査」と題した映像資料及びパネルを展示し、職員3名がブースに立ち、来場者へ説明を実施した。どうぶつフェスタでは幅広い層の来場者が予想されたため、展示資料の内容や表現をよりわかりやすく作成した。また、ブースを訪れた来場者を対象にアンケートを実施した。アンケートでは、



図1. 食肉衛生検査所ブースの様子

II 取り組み概要

1. どうぶつフェスタ

どうぶつフェスタとは、宮城県獣医師会及び仙台市獣医師会の主催による、人と動物のより良い福祉の実現と人と動物の絆をより深めることを目的としたイベントであり、仙台市勾当台公園にて開催される。どうぶつフェスタでは、多くの団体が出展し、獣医師体験や搾乳体験等様々な企画が実施されており、多くの方々が来場している。

2. どうぶつフェスタにおける出展内容

食肉衛生検査所では「お肉のできる工程と食肉



図2. 作成した資料

「と畜検査について知っているか」、「と畜検査では獣医師が1頭ずつ検査していることを知っているか」の他に、今回の資料についての意見や、獣医師の仕事について今後知りたいこと等について調査した。

Ⅲ 結 果

当日は多くの来場者がブースを訪れ、様々な質問や意見をもらい、アンケートも170件回収できた。その中で、と畜検査そのものについて、「知っていた」という回答は54%であった。この結果は、と畜検査について知っている人の割合が予想以上に高いものであった。

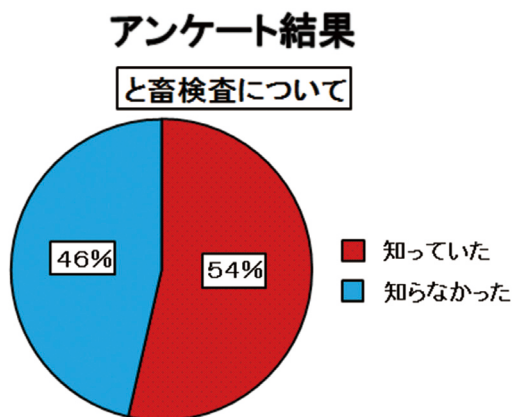


図3. アンケート結果1

しかし、と畜検査を獣医師が1頭ずつ行っていることについては、「知らなかった」という回答が74%と大半を占め、予想していた結果となった。

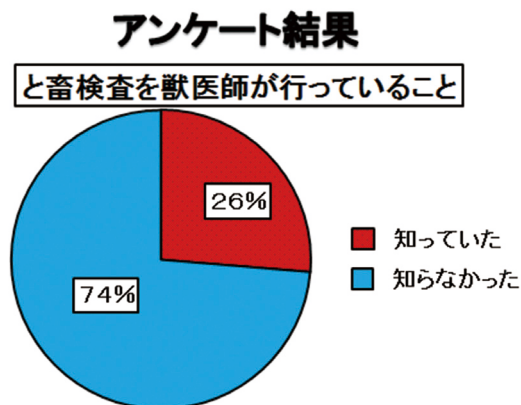


図4. アンケート結果2

その他の意見・感想には「1頭ずつ検査をしていることを知り安心である」、「検査の流れを詳しく知れて良かった」、「と畜検査についてもっと世間に知らせるべき」といった内容の意見が多く寄せられた。

アンケート結果

その他の意見

- ・「獣医師が1頭ずつ検査しているという
ことで安心した。」
- ・「どのような検査が行われているのかが
より詳しく知ることができた。」
- ・「と畜検査の実態についてもっと世間に
知らせるべきだと感じた。」

図5. アンケート結果3

また、と畜検査や食肉衛生検査所に関すること以外に、「動物病院の獣医師しか知らなかった」、「獣医師の仕事についてもっと知りたい」といった獣医師の職域に関する意見も多く寄せられた。

アンケート結果

その他の意見

- ・「今まで動物病院の獣医師しか
知らなかった。」
- ・「獣医師の仕事についてもっと知りたい。」

図6. アンケート結果4

今回、どうぶつフェスタに参加したことで、と畜検査や食肉衛生検査所での獣医師の業務について、より積極的に消費者へアピールすることができた。その一方で、消費者が食肉の安全・安心や獣医師の職域について興味・関心が高いということがわかった。

また、逆に、アンケート結果から、と畜検査について獣医師が1頭ずつ検査していることを知らなかったという人が74%と多数を占め、「食肉衛生検査所での獣医師の業務やと畜検査について知ることができて良かった」という意見が多かったこと、

「と畜検査についてもっと世の中に知らせるべき」といった意見も見られたことから、食肉衛生検査所やと畜検査について、消費者に認知・理解されていないということがわかった。さらに、「動物病院の獣医師以外の仕事についてもっと知りたい」といった意見も多かったことから、臨床獣医師以外の仕事について、ほとんど知られていないという現状も明らかとなった。

IV まとめ

元々、検査所の存在を知っており、興味・関心がある消費者に対しては、オープン・ラボやホームページ等による情報発信手段は有効である。しかし、今回、多くの消費者が「食肉衛生検査所での獣医師の役割や業務」、「と畜場でどのような工程・検査を経て食肉が生産されているか」について、潜在的に

関心を持っているということが、アンケートの結果より明らかとなった。それにもかかわらず、その情報を得るための機会が十分でないということは、大きな課題であると思われる。

また、現在地方自治体の獣医師不足は大きな問題となっており、食肉衛生検査所においても獣医師の人数が足りない状況にある。

従って、「食肉の安全安心の確保」に係る消費者の興味・関心に応えるため、また、獣医師確保の一助とするためにも、更なる情報発信が必要であると思われる。

今後は、オープン・ラボをはじめ、従来の広報活動を見直しながらどうぶつフェスタのように外部へ直接出向く等、様々な形で「食肉衛生検査所で働く獣医師」や「と畜検査」について、積極的に情報発信を行い、社会にアピールしていきたい。

平成28年度新春講演会並びに 平成29年新春の集い

☆新春講演会☆

日 時：平成29年1月22日（日）15：00～

場 所：ホテルモントレ仙台

☆新春の集い☆

日 時：平成29年1月22日（日）17：00～

場 所：ホテルモントレ仙台

